

執筆者 一覧

①＝現職 ②＝専門分野 ③＝主要著書・論文

● 編者

後藤 真・橋本雄太 →奥付参照

● 執筆者（掲載順）

山田太造（やまだ たいぞう）

①東京大学史料編纂所前近代日本史情報国際センター助教 ②データ工学、歴史情報学 ③山田太造「ガラス乾板に関するデータはどこに向かうのか」（久留島典子・高橋則英・山家浩樹編『文化財としてのガラス乾板』勉誠出版、2017年、180-183頁）、山田太造・畑山周平・小瀬玄士・遠藤珠紀・井上聡・久留島典子「前近代日本史史料における人物関係とその時空間変化：天正期古記録『上井覚兼日記』を例に」（『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集：じんもんこん2017』2017年12月、61-68頁）、山田太造「文字データベース連携の課題」（石塚晴通監修／高田智和・馬場基・横山詔一編『漢字字体史研究 二』勉誠出版、2016年、395-419頁）

中村 覚（なかむら さとる）

①東京大学情報基盤センターデータ科学研究部門助教 ②デジタルアーカイブ、Linked Data、人文情報学 ③中村覚・大和裕幸・稗方和夫・満行泰河・鈴木淳・吉田ますみ「Linked Dataを用いた歴史研究者の史料管理と活用を支援するシステムの開発」（『情報処理学会論文誌』Vol.59、No.4、2018年、1240-1249頁）、中村覚「Linked Dataを用いた軍艦オントロジーの構築と平賀譲デジタルアーカイブへの活用」（『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集：じんもんこん2017』2017年12月、133-138頁）、中村覚・稗方和夫・満行泰河・加藤諭・宮本隆史・高嶋朋子「『文部省往復』を中心としたデジタルアーカイブの構築とその活用」（『東京大学文書館紀要』No.35、2017年、30-43頁）

北本朝展（きたもと あさのぶ）

①情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設 人文学オープンデータ共同利用センター センター長／国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系准教授 ②情報学 ③北本朝展・堀井洋・堀井美里・鈴木親彦・山本和明「時系列史料の人機分担構造化：古典籍『武鑑』を参照する江戸情報基盤の構築に向けて」（『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集：じんもんこん2017』2017年12月、273-280頁）、西村陽子・北本朝展「デジタル史料批判と歴史学における新発見」（『人工知能学会誌』Vol. 31、No. 6、2016年11月、769-774頁）、北本朝展「デジタル・アーカイブの鍛え方～公開から始まる継続的な改善を駆動する方法論」（岡本真・柳与志夫編『デジタル・アーカイブとは何かー理論と実践』勉誠出版、2015年、157-180頁）

天野真志（あまの まさし）

①国立歴史民俗博物館特任准教授 ②日本近世・近代史、資料保存 ③『記憶が歴史資料になるとき』（蕃山房、2016年）、「秋田藩佐竹家中長瀬氏系図の成立と旧領常陸」（近代茨城地域史研究会編『近世近代移行期の歴史意識・思想・由緒』岩田書院、2017年）、「地域歴史資料と災害対策」（『文化財保存修復学会誌』60、2017年）

関野 樹（せきの たつき）

①国際日本文化研究センター教授 ②時間情報学 ③関野樹「コンピューターによる時間情報の記述と活用」（国立歴史民俗博物館編『〈総合資料学〉の挑戦 異分野融合研究の最前線』吉川弘文館、2017年、76-97頁）、Tatsuki Sekino, Basic linked data resource for temporal information, *Proceedings of the 2017 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings* (PNC), 76-82, 2017、関野樹「Web HuTime - 時間情報のための Web プラットフォーム」（『情報処理学会シンポジウムシリーズ』2016(2)、2016年、125-132頁）

鈴木卓治（すずき たくじ）

①国立歴史民俗博物館教授 ②博物館情報システム学 ③鈴木卓治・大久保純一「江戸図屏風を起点に他の風景と比べたら何がわかるか？」（国立歴史民俗博物館編『歴史研究と〈総合資料学〉』吉川弘文館、2018年、34-55頁）、『画像色彩技術を用いた錦絵画像の色彩分析とデジタル展示』（千葉大学大学院融合科学研究科博士論文、2015年、<https://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/900119186/>）、鈴木卓治編『〈共同研究〉デジタル化された歴史研究情報の高度利用に関する研究』（『国立歴史民俗博物館研究報告』189、2015年、<http://id.nii.ac.jp/1350/00002140/>）

永崎研宣（ながさき きよのり）

①一般財団法人人文情報学研究所主席研究員 ②人文情報学、仏教学 ③ Kiyonori Nagasaki, Contexts of Digital Humanities in Japan, *Digital Humanities and Scholarly Research Trends in the Asia-Pacific, IGI Global*, Jan 2019, pp. 71-90、永崎研宣・下田正弘「オープン化が拓くデジタルアーカイブの高度利活用：IIIF Manifests for Buddhist Studiesの運用を通じて」（『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集：じんもんこん2018』2018年12月、389-394頁）、永崎研宣「インド学仏教学を未来につなぐために－研究資料ネットワークの再形成に向けて－」（『印度学仏教学研究』2017年3月、1015-1022頁）

大河内智之（おおこうち ともゆき）

①和歌山県立博物館主査学芸員 ②日本美術史 ③『道成寺と日高川－道成寺縁起と流域の宗教文化－』（和歌山県立博物館、2017年）、『さわって学ぶ 仏像の基礎知識』（和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会、2017年）、「成立期の丹生高野四社明神像について－鑄造神像とその木型－」（『佛教藝術』346、2016年）、『熊野－聖地への旅－』（和歌山県立博物館、2014年）、「さわれるレプリカとさわって読む図録－展示のユニバーサルデザイナー－」（『博物館研究』549、2014年）、『高野山麓 祈りのかたち』（和歌山県立博物館、2012年）